

| | |
|---------|--|
| × 整理番号 | |
| × 受理年月日 | |

液化石油ガス設備工事届書

平成 年 月 日

吉川松伏消防組合
管理者 様

氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名
住 所

印

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届出します。

| | |
|----------------------|--|
| 工事に係る供給設備又は消費設備の所在地 | |
| 当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称 | |
| 当該設備の使用目的 | |
| 貯蔵設備の貯蔵能力 | |
| 工事の内容 | |

- (備考) 1 ×印の項は記載しないこと。
2 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において署名は必ず本人が自署するものとする。

設備工事届出書別紙

1 . 貯蔵設備の構造総括表

| 貯 蔵 能 力 | | kg (kg × 本) | | | |
|----------------------------|---|---|---------|--------------|--|
| 構 造 | 屋 根 | 石綿スレート ・ 薄鉄板 ・ その他 () | | | |
| | 扉 | 材質 () | | 厚さ () | |
| | | 引戸 ・ シャッター | | 開戸 | |
| | 囲 い | 鉄筋コンクリート ・ 重ブロック ・ 鋼板製 ・ その他 () | | | |
| | 滞留防止措置 | 有 (cm × cm 個 方向) ・ 無 | | | |
| | 転倒防止措置 | チェーン ・ その他 | | | |
| 位 置 | 火 気 2 m | 適 ・ 否 | | 敷地境界線までの距離 m | |
| | 保安物件までの距離 | 第 1 種保安物件 | | m | |
| | | 第 2 種保安物件 | | m | |
| 火気取り扱い施設との距離 (1 トン以上に限る) | 適 (5 m 以上) ・ 否 | | | | |
| 供 給 状 況 | 調 整 器 | 自動切替式 (1 . 分離型 ・ 2 . 一体型) ・ 2 段減圧式 (1 . 分離型 ・ 2 . 一体型) 単段減圧式 能力 _____ kg / h | | | |
| | メーター | マイコン ・ S ・ SB ・ その他 (_____) , _____ 号 | | | |
| | ガス漏れ警報器連動遮断装置 | 有 ・ 無 | | | |
| | 対震自動ガス遮断装置 | メーター内臓 ・ 感震器連動 | | | |
| | ガス漏えい検知装置 | 有 (1 . 流量検知式 ・ 2 . 圧力検知式 ・ 3 . 流量検知式圧力監視型) ・ 無 | | | |
| | 気化装置 (添付書類) | 有 (形式 _____ 能力 _____ kg / h) ・ 無 (認定書の写し) | | | |
| 警 戒 標 | LP ガス | 枚 | 火 気 厳 禁 | 枚 | |
| | 無断立入禁止 | 枚 | 緊急時連絡先 | 枚 | |
| | 燃 | 枚 | 管理者氏名 | 枚 | |
| 消 火 器 | 能力単位 A - (_____) B - (_____) 本数 (_____) | | | | |

2 . 供給管等

| | | | | |
|-------------|-------|----------------------------|-----|---|
| 高 圧 部 | | 主な管の材料 | | |
| 低 圧 部 | 露 出 部 | 主な管の材料 | | |
| | 埋 設 部 | 主な管の材料 | 深 さ | m |
| | ピ ッ ト | 有 (有の場合は、図面に明記すること。) ・ 無 | | |

3 . その他

| | | | | |
|-----------------------|-------------|---------------|-------|---|
| 設 備 士 名 | | 設 備 士 免 状 番 号 | | 県 |
| 設 備 士 再 講 習 受 講 年 月 日 | 年 月 日 | | | |
| ポリエチレン資格者氏名 | 資格番号 | | | |
| 配管用フレキ管資格者名 | 資格番号 | | | |
| 施 工 後 の 表 示 | 有 ・ 無 | 施 工 完 了 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 工 事 業 者 連 絡 先 電 話 番 号 | | | | |
| 販 売 事 業 者 名 ・ 電 話 番 号 | 有 () ・ 未 定 | | | |

4 . 添付書類 (以下の書類を添付すること)

| | |
|---|--|
| 1 | 現地への案内図 (最寄り駅から所在地までが確認できるもの) |
| 2 | 敷地配置図 (敷地内の貯蔵設備の位置と付近の状況を示す図面) |
| 3 | 保安距離図 (貯蔵量 1 トン以上の物件に限り必要。貯蔵設備からの保安距離 (斜め距離含む) が確認できる図面) |
| 4 | 容器収納庫の構造図 (市販品使用の場合は製造元の仕様書等でも可) |
| 5 | 供給管の配管図 |
| 6 | 施工設備士の免状の写し (再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。) |
| 7 | 気密試験結果 (自記圧力計の記録された用紙の写し) * 中圧部分がある場合は中圧部分の試験結果も必要 |